

記入例（形式1）－②：（本籍地の記載、日付まで必要な場合）

形式 1

在 留 証 明 願

令和 5 年 5 月 1 日

在パラオ日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を使う人	証明 花子	生 年	明・大	35 年 3 月 22 日
代理人氏名 (※1)		月 日	昭・平・令	
申請者の 本籍地 (※2)	東京	(都・道 府・県)	千代田区霞が関2丁目2番地1	(市区郡以下を記入してください。※2)
提出理由	免税販売手続き	提出先	免税店	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

現 住 所	日 本 語 : パラオ共和国コロール州マラカル AIアパート9号室	
	外 国 語 : #9 IA Apartment, Malakal, Koror, Republic of Palau	
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(令和 ・ 平成) 昭和) 25 年 4 月 5 日

- (※1) 本人申請の場合は記入不要です。
(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在 留 証 明

証 第(公館別記号) 23 - 12345 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

令和 5 年 5 月 1 日

在パラオ日本国大使館

特命全権大使 外務 太 郎

(手 数 料 : 米 貨 9 ド ル)

公 印
